

大学番号：私085

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

津田塾大学 総合政策学部 総合政策学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人津田塾大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 千駄ヶ谷キャンパス事務室

職名・氏名 専門員 横 濱 生 子

電話番号 03-6447-5911

（夜間） 03-3478-7230

F A X 03-6447-5913

e-mail sc-office@tsuda.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

総合政策学部

＜総合政策学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	55
7. その他全般的事項	57

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人津田塾大学

(2) 大学名

津田塾大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24

(187-8577 東京都小平市津田町2-1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シマダ セイイチ) 島田 精一 (平成24年12月20日)	(シマダ セイイチ) 島田 精一 (平成27年7月) (平成24年12月20日)	再任の日付に修正 (元)
学長	(タカハシ ユウコ) 高橋 裕子 (平成28年4月)		
学部長	(カヤノ トシヒト) 萱野 稔人 (平成29年4月)	(カヤノ トシヒト) 萱野 稔人 (平成31年4月) (平成29年4月)	再任につき就任年月変更 (元)
学科長等	(コダテ アキヒサ) 小館 亮之 (平成29年4月)	(コダテ アキヒサ) 小館 亮之 (平成31年4月) (平成29年4月)	再任につき就任年月変更 (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員		編入学定員	
総合政策学部 総合政策学科 学士（総合政策学）	法学関係	年 4	人 110	人 110	年次人 —	人 440

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	110人 (-) [-]	-人 (-) [-]	110人 () []	人 () []	110人 () []	人 () []	1.15倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	2141 (-) [-]	(-) [-]	1347 (-) [-]	(-) [-]	1240 (-) []	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	2096 (-) [-]	(-) [-]	1319 (-) [-]	(-) [-]	1193 (-) []	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	530 (-) [-]	(-) [-]	329 (-) [-]	(-) [-]	321 (-) []	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	162 (-) [-]	- (-) [-]	105 (-) [-]	- (-) [-]	116 (-) []	() []			
入学定員超過率 B/A					1.47		0.95		1.05				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	157 [-] (-)	- [-]	102 [-] (-)	- [-] (-)	116 [1] (1)	- [-]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	[-] (5)	[-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	157 [-] (-)		258 [-] (-)		372 [1] (6)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	162 人	5 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	5 人	0 人	他の教育機関への入学(5)
平成30年度	262 人	6 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学(1)
			平成30年度	5 人	0 人	他の教育機関への入学(2)、学習意欲の低下(1)、学生個人の心身に関する事情(2)
令和元年度	372 人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合 計		11 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{162} = \boxed{3.08} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{262} = \boxed{2.29} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{372} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合政策学部 総合政策学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	年配次当	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目 / 英語	Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーションの基礎) IA	1前	1			1					兼3
	Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB	1後	1			1					兼3
	Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパッションネット・コミュニケーション) IC	1後	1			1					兼3
	Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IA	1前	1			1					兼3
	Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IB	1後	1			1					兼3
	Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IC	1後	1			1					兼3
	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA	1前	1			2					兼4
	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB	1後	1			2					兼4
	Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC	1後	1			2					兼4
	Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA	1前	1			2					兼4
Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB	1後	1			2					兼4	

【令和元年度】

授業科目の名称	年配次当	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーションの基礎) IA	1前	1				1					兼6
Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB	1後	1				1					兼6
Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパッションネット・コミュニケーション) IC	1後	1				1					兼6
Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IA	1前	1				1					兼6
Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IB	1後	1				1					兼6
Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IC	1後	1				1					兼6
Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA	1前	1				2					兼5
Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB	1後	1				2					兼5
Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC	1後	1				2					兼5
Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA	1前	1				2					兼5
Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB	1後	1				2					兼5

	Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA	3前	1			2												兼5
	Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB	3後	1			2												兼5
	Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC	3後	1			2												兼5
	小計 (36科目)	—	36			2	1	0	0	0								兼28
基礎科目 / セミナー	1年セミナーA	1前	1			9	2											
	1年セミナーB	1後	1			9	2											
	1年セミナーC	1後	1			9	2											
	2年セミナーA	2前	1			9	2											
	2年セミナーB	2後	1			9	2											
	2年セミナーC	2後	1			9	2											
	小計 (6科目)	—	6			9	2	0	0	0								
基礎科目 / ソーシャル・サイエンス	政治とは何か	1前	2			1												
	経済の仕組み	1後	2				1											
	法から見た社会	1後	2			1												
	計量経済の基礎	1後	2				1											
小計 (4科目)	—	8			2	1	0	0	0									
基礎科目 / データ・サイエンス	データ・サイエンス入門 (演習付講義)	1前	2			1												
	統計Ⅰ (演習付講義)	1後	2							1								
	会計 (演習付講義)	1後	2															
	経済分析 (演習付講義)	2前	2			1												
	アルゴリズム (演習付講義)	2後	2			1												
	統計Ⅱ (演習付講義)	2後	2							1								
小計 (6科目)	—	12			2	0	0	1	0								兼1	
基礎科目 / 概論	総合政策概論A	1前	1			1												
	総合政策概論B	1後	1			1												
小計 (2科目)	—	2			1	0	0	0	0									
基礎科目 / 課題解決関連科目 / パブリック・ポリシー	分配のポリティクス	1前		2														兼1
	グローバリゼーション論	1後		2		1												
	地域政策論	1後		2		1												
	政治参加	2前		2			1											
	平和構築	2前		2														兼1
	プロパガンダとアドボカシー	2後		2														兼1
	文化交流論	2後		2														兼1
	市民社会における安全保障	3前		2		1												
	法制度設計	3前		2														兼1
	統治システム論	3後		2		1												
	公共管理	3後		2		1												

	Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA	3前	1			2												兼8
	Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB	3後	1			2												兼8
	Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC	3後	1			2												兼8
	小計 (36科目)	—	36			2	1	0	0	0								兼32
基礎科目 / セミナー	1年セミナーA	1前	1			10	1											
	1年セミナーB	1後	1			10	1											
	1年セミナーC	1後	1			10	1											
	2年セミナーA	2前	1			10	1											
	2年セミナーB	2後	1			10	1											
	2年セミナーC	2後	1			10	1											
	小計 (6科目)	—	6			10	1	0	0	0								
基礎科目 / ソーシャル・サイエンス	政治とは何か	1前	2			1												
	経済の仕組み	1後	2				1											
	法から見た社会	1後	2			1												
	計量経済の基礎	1後	2				1											
小計 (4科目)	—	8			3	0	0	0	0									
基礎科目 / データ・サイエンス	データ・サイエンス入門 (演習付講義)	1前	2			1												
	統計Ⅰ (演習付講義)	1後	2											1				
	会計 (演習付講義)	1後	2															兼1
	経済分析 (演習付講義)	2前	2			1												
	アルゴリズム (演習付講義)	2後	2			1												
	統計Ⅱ (演習付講義)	2後	2											1				
小計 (6科目)	—	12			2	0	0	1	0								兼1	
基礎科目 / 概論	総合政策概論A	1前	1			1												
	総合政策概論B	1後	1			1												
小計 (2科目)	—	2			1	0	0	0	0									
基礎科目 / 課題解決関連科目 / パブリック・ポリシー	分配のポリティクス	1前		2														兼1
	グローバリゼーション論	1後		2		1												
	地域政策論	1後		2		1												
	政治参加	2前		2			1											
	平和構築	2前		2														兼1
	プロパガンダとアドボカシー	2後		2														兼1
	文化交流論	2後		2														兼1
	市民社会における安全保障	3前		2		1								1				
	法制度設計	3前		2														兼1
	統治システム論	3後		2		1								1				
	公共管理	3後		2		1								1				

シ	環境政策論	3後	2															兼1
	国際標準化論	3後	2		1													
	小計 (13科目)	—	26		4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6
基幹科目 / 課題解決関連連科目 / エコノミック・マネジメント	企業の社会的責任	1前	2															兼1
	雇用経済論	1後	2															兼1
	マーケティング戦略	2前	2															兼1
	イノベーションと社会	2後	2															兼1
	多国籍企業論	2後	2			1												兼1
	知的財産法	3前	2															兼1
	世界の開発と貧困問題	3後	2		1													兼1
	医療・介護の経済分析	3後	2			1												兼1
	小計 (8科目)	—	16		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5
基幹科目 / 課題解決関連連科目 / ソーシャル・アーキテクチャ	情報通信技術と社会	1前	2		1													
	インターネット概論	1後	2		1													
	Web情報システム論	2前	2						1									
	情報セキュリティ論	2後	2															兼1
	メディア産業論	2後	2															兼1
	スマートコミュニティ論	3前	2															兼1
	データ政策科学	3前	2		1													
	情報通信政策	3後	2															兼1
	経営情報システム	3後	2															兼1
	技術経営論	3後	2															兼1
	健康医療情報システム	3後	2															兼1
小計 (11科目)	—	22		2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7	
基幹科目 / 課題解決関連連科目 / ヒューマン・ディベロップメント	社会实践の諸相	1前	2															兼1
	コミュニティスタディ	1前	2															兼1
	女性のキャリア開発	1後	2															兼1
	地域ケア論	1後	2		1													兼1
	少子高齢化の進展と社会保障の持続可能性	2前	2															兼1
	ソーシャル・インクルージョン論	2前	2															兼1
	ジェンダーと社会変動	2後	2		1													兼1
	子どもの貧困と教育格差	2後	2															兼1
	人の国際移動と社会の多文化化	2後	2		1													兼1
	ダイバーシティ社会論	3前	2		1													兼1
小計 (11科目)	—	22		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6	
政治制度論	政治制度論	2前	2			1												
	法と公共政策	2前	2															兼1
	経済活動のための法	2後	2															兼1
	行政学	2後	2		1													兼1
	日本政治史	2後	2															兼1
	公共哲学	2後	2		1													兼1
	グローバル・ポリティクス論	3前	2		1													兼1
	実証政治理論	3後	2			1												兼1
	ミクロ・マクロ経済分析	2前	2		1													兼1

シ	環境政策論	3後	2																兼1
	国際標準化論	3後	2		1														
	小計 (13科目)	—	26		4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6	
基幹科目 / 課題解決関連連科目 / エコノミック・ポリシー	企業の社会的責任	1前	2																兼1
	雇用経済論	1後	2																兼1
	マーケティング戦略	2前	2																兼1
	イノベーションと社会	2後	2																兼1
	多国籍企業論	2後	2			1													兼1
	知的財産法	3前	2																兼1
	世界の開発と貧困問題	3後	2		1														兼1
	医療・介護の経済分析	3後	2			1													兼1
	経済政策論	3前	2																兼1
小計 (9科目)	—	18		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6	
基幹科目 / 課題解決関連連科目 / ソーシャル・アーキテクチャ	情報通信技術と社会	1前	2		1														
	インターネット概論	1後	2		1														
	Web情報システム論	2前	2																1
	情報セキュリティ論	2後	2																兼1
	メディア産業論	2後	2																兼1
	スマートコミュニティ論	3前	2																兼1
	データ政策科学	3前	2		1														兼1
	情報通信政策	3後	2																兼1
	経営情報システム	3後	2																兼1
	技術経営論	3後	2																兼1
	健康医療情報システム	3後	2																兼1
小計 (11科目)	—	22		2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7	
基幹科目 / 課題解決関連連科目 / ヒューマン・ディベロップメント	社会实践の諸相	1前	2																兼1
	コミュニティスタディ	1前	2																兼1
	女性のキャリア開発	1後	2																兼1
	地域ケア論	1後	2		1														兼1
	少子高齢化の進展と社会保障の持続可能性	2前	2																兼1
	ソーシャル・インクルージョン論	2前	2																兼1
	ジェンダーと社会変動	2後	2		1														兼1
	子どもの貧困と教育格差	2後	2																兼1
	人の国際移動と社会の多文化化	2後	2		1														兼1
	ダイバーシティ社会論	3前	2		1														兼1
小計 (11科目)	—	22		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼6	
政治制度論	政治制度論	2前	2																
	法と公共政策	2前	2																兼1
	経済活動のための法	2後	2																兼1
	行政学	2後	2		1														兼1
	日本政治史	2後	2																兼1
	公共哲学	2後	2		1														兼1
	グローバル・ポリティクス論	3前	2		1														兼1
	実証政治理論	3後	2			1													兼1
	ミクロ・マクロ経済分析	2前	2		1														兼1

基幹科目 ／ 専門科目	日本の財政・金融	2後	2	1																
	現代経営論	2後	2																	兼1
	行動経済分析	3前	2																	兼1
	貿易政策論	3後	2	1																
	社会調査入門	2前	2						1											
	質的調査法	2後	2																	兼1
	プログラミング入門	2後	2						1											
	プロジェクト・マネジメント	2後	2																	兼1
	多変量解析と公的統計	3前	2																	兼1
	アプリケーション開発	3後	2																	兼1
	共生社会と法	2前	2																	兼1
	社会学概論	2前	2																	兼1
	福祉政策論	2後	2	1																
	社会階層論	2後	2																	兼1
	家族社会学	2後	2																	兼1
能力開発論	3前	2	1																	
現代社会論	3後	2																	兼1	
福祉国家論	3後	2																	兼1	
小計 (27科目)	—	54	6	2	0	1	0												兼14	
応用科目	3年セミナーA	3前	1		9	2														
	3年セミナーB	3後	1		9	2														
	3年セミナーC	3後	1		9	2														
	4年セミナーA	4前	1		9	2														
	4年セミナーB	4後	1		9	2														
	4年セミナーC	4後	1		9	2														
	卒業研究プロジェクト	4後	4		9	2														
	小計 (7科目)	—	10		9	2	0	0	0											
総合科目	クリティカル・シンキング	1前	2																	兼1
	世界の宗教と社会	1前	2																	兼1
	ソーシャル・デザイン論	1後	2																	兼1
	経済人類学	1後	2																	兼1
	科学技術と文明	1後	2																	兼1
	歴史入門	1後	2																	兼1
	キャリア入門A	1前	1																	兼1
	キャリア入門B	1後	1																	兼1
	キャリア入門C	1後	1																	兼1
	日本語ライティングA	1前	1																	兼1
	日本語ライティングB	1後	1																	兼1
	日本語ライティングC	1後	1																	兼1
	インターンシップ	1前	1~4		1															
	語学研修	1前	2		1															

基幹科目 ／ 専門科目	日本の財政・金融	2後	2	1																
	現代経営論	2後	2																	兼1
	行動経済分析	3前	2																	兼1
	貿易政策論	3後	2	1																
	社会調査入門	2前	2						1											
	質的調査法	2後	2																	兼1
	プログラミング入門	2後	2						1											
	プロジェクト・マネジメント	2後	2																	兼1
	多変量解析と公的統計	3前	2																	兼1
	アプリケーション開発	3後	2																	兼1
	共生社会と法	2前	2																	兼1
	社会学概論	2前	2																	兼1
	福祉政策論	2後	2	1																
	社会階層論	2後	2																	兼1
	家族社会学	2後	2																	兼1
能力開発論	3前	2	1																	
現代社会論	3後	2																	兼1	
福祉国家論	3後	2																	兼1	
小計 (27科目)	—	54	7	1	0	1	0												兼14	
応用科目	3年セミナーA	3前	1		10	1														
	3年セミナーB	3後	1		10	1														
	3年セミナーC	3後	1		10	1														
	小計 (3科目)	—	3		10	1	0	0	0											
総合科目	クリティカル・シンキング	1前	2																	兼1
	世界の宗教と社会	1前	2																	兼1
	ソーシャル・デザイン論	1後	2																	兼1
	経済人類学	1後	2																	兼1
	科学技術と文明	1後	2																	兼1
	歴史入門	1後	2																	兼1
	キャリア入門A	1前	1																	兼1
	キャリア入門B	1後	1																	兼1
	キャリア入門C	1後	1																	兼1
	日本語ライティングA	1前	1																	兼1
	日本語ライティングB	1後	1																	兼1
	日本語ライティングC	1後	1																	兼1
	インターンシップ	1前	1~4		1															
語学研修	1前	2		1																
International Training Course A	1前	1																	兼1	
International Training Course B	1前	1																	兼1	
社会戦略とイノベーション	1前	1																	兼1	
ダイバーシティと情報通信	1前	1																	兼1	
データ分析実践	1前	1																	兼1	
上場会社におけるディスクロージャー制度	3前	1																	兼1	

幹 科 目 / リ ッ ク ・ 課 題 解 決 関 連 科 目 / パ ブ リ シ ョ ン	グローバリゼーション 論	1後	2	1						
	地域政策論	1後	2	1						
小計(3科目)		—	6	2	0	0	0	0	0	兼1

特 目 / 課 題 解 決 関 連 科 目 / パ ブ リ シ ョ ン	グローバリゼーション 論	1後	2	1						
	地域政策論	1後	2	1						
	政治参加	2前	2		1					
	平和構築	2前	2							兼1
	プロパガンダとアドボ カシー	2後	2							兼1
文化交流論	2後	2							兼1	
小計(7科目)		—	14	2	1	0	0	0	0	兼4

基幹科目 コノミツク・ポリシー	企業の社会的責任	1前	2							兼1
	雇用経済論	1後	2							兼1
	小計(2科目)	—	4	0	0	0	0	0	0	兼2
基幹科目 ル・アーキテクチャ	情報通信技術と社会	1前	2	1						
	インターネット概論	1後	2	1						
	小計(2科目)	—	4	2	0	0	0	0	0	
基幹科目 課題解決関連科目 ヒューマン・ディベロップメント	社会実践の諸相	1前	2							兼1
	コミュニティスタディ	1前	2							兼1
	女性のキャリア開発	1後	2							兼1
	地域ケア論	1後	2	1						
	小計(4科目)	—	8	1	0	0	0	0	0	兼2
基幹科目 専門科目										
		小計(0科目)	—	0	0	0	0	0	0	0

基幹科目 コノミツク・ポリシー	企業の社会的責任	1前	2							兼1
	雇用経済論	1後	2							兼1
	マーケティング戦略	2前	2							兼1
	イノベーションと社会	2後	2							兼1
	多国籍企業論	2後	2	1						
	小計(5科目)	—	10	1	0	0	0	0	0	兼4
基幹科目 ル・アーキテクチャ	情報通信技術と社会	1前	2	1						
	インターネット概論	1後	2	1						
	Web情報システム論	2前	2			1				
	情報セキュリティ論	2後	2							兼1
	メディア産業論	2後	2							兼1
	小計(5科目)	—	10	2	0	0	1	0	0	兼2
基幹科目 課題解決関連科目 ヒューマン・ディベロップメント	社会実践の諸相	1前	2							兼1
	コミュニティスタディ	1前	2							兼1
	女性のキャリア開発	1後	2							兼1
	地域ケア論	1後	2	1						
	少子高齢化の進展と社会保障の持続可能性	2前	2							兼1
	ソーシャル・インクルージョン論	2前	2							兼1
	ジェンダーと社会変動	2後	2	1						
	子どもの貧困と教育格差	2後	2							兼1
	人の国際移動と社会の多文化化	2後	2	1						
	小計(9科目)	—	18	2	0	0	0	0	0	兼5
基幹科目 専門科目	政治制度論	2前	2			1				
	法と公共政策	2前	2							兼1
	経済活動のための法	2後	2							兼1
	行政学	2後	2	1						
	日本政治史	2後	2							兼1
	公共哲学	2後	2	1						
	ミクロ・マクロ経済分析	2前	2	1						
	日本の財政・金融	2後	2	1						
	現代経営論	2後	2							兼1
	社会調査入門	2前	2				1			
	質的調査法	2後	2							兼1
	プログラミング入門	2後	2					1		
	プロジェクト・マネジメント	2後	2							兼1
	共生社会と法	2前	2							兼1
社会学概論	2前	2							兼1	
福祉政策論	2後	2	1							
社会階層論	2後	2							兼1	
家族社会学	2後	2							兼1	
	小計(18科目)	—	36	5	1	0	1	0	0	兼9

応用科目	小計(0科目)									
	—	0								
総合科目	クリティカル・シンキング	1前	2							兼1
	世界の宗教と社会	1前	2							兼1
	ソーシャル・デザイン論	1後	2							兼1
	経済人類学	1後	2							兼1
	科学技術と文明	1後	2							兼1
	歴史入門	1後	2							兼1
	キャリア入門A	1前	1							兼1
	キャリア入門B	1後	1							兼1
	キャリア入門C	1後	1							兼1
	日本語ライティングA	1前	1							兼1
	日本語ライティングB	1後	1							兼1
	日本語ライティングC	1後	1							兼1
	インターンシップ	1前	1~4	1						
	語学研修	1前	2	1						
	International Training Course A	1前	1							兼1
	International Training Course B	1前	1							兼1
	社会戦略とイノベーション	1前	1							兼1
小計(17科目)	—	24~27	2	0	0	0	0	0	兼10	
合計(50科目)	—	31	46~49	11	3	0	1	0	兼28	
卒業要件及び履修方法										
①必修科目 計72単位 基礎科目 64単位 応用科目 10単位										
②選択必修科目 計32単位以上 課題解決関連科目 16単位以上 (所属する分野の科目を最低8単位以上修得すること) 専門科目 16単位以上										
③選択科目 計24単位以上 計130単位以上修得すること。 (履修科目登録の年間上限: 42単位)										

応用科目	小計(0科目)									
	—	0								
総合科目	クリティカル・シンキング	1前	2							兼1
	世界の宗教と社会	1前	2							兼1
	ソーシャル・デザイン論	1後	2							兼1
	経済人類学	1後	2							兼1
	科学技術と文明	1後	2							兼1
	歴史入門	1後	2							兼1
	キャリア入門A	1前	1							兼1
	キャリア入門B	1後	1							兼1
	キャリア入門C	1後	1							兼1
	日本語ライティングA	1前	1							兼1
	日本語ライティングB	1後	1							兼1
	日本語ライティングC	1後	1							兼1
	インターンシップ	1前	1~4	1						
	語学研修	1前	2	1						
	International Training Course A	1前	1							兼1
	International Training Course B	1前	1							兼1
	社会戦略とイノベーション	1前	1							兼1
ダイバーシティと情報通信	1前	1							兼1	
データ分析実践	1前	1							兼1	
小計(19科目)	—	26~29	2	0	0	0	0	0	兼12	
合計(105科目)	—	52	114~117	12	2	0	1	0	兼56	
卒業要件及び履修方法										
①必修科目 計72単位 基礎科目 64単位 応用科目 10単位										
②選択必修科目 計32単位以上 課題解決関連科目 16単位以上 (所属する分野の科目を最低8単位以上修得すること) 専門科目 16単位以上										
③選択科目 計24単位以上 計130単位以上修得すること。 (履修科目登録の年間上限: 42単位)										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・2017年度入学者増に伴う英語クラス増のため、英語コミュニケーションクラスの兼任講師の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・2017年度入学者増に伴う英語クラス増のため、英語Reading およびWriting クラスの兼任講師の配置を「兼4」から「兼6」に変更。
- ・大学全体でギャップタームを活用のため、「International Training Course A」(兼1)、「International Training Course B」(兼1)、「社会戦略とイノベーション」(兼1)を設置した。
- ・誤記の理由により「インターンシップ」の単位数を「1」から「1～4」に変更。

【平成30年度】

- ・2017年度入学者増に伴う英語クラス増のため、英語コミュニケーションクラスの兼任講師の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・2017年度入学者増に伴う英語クラス増のため、英語Reading およびWritingクラスの兼任講師の配置を「兼5」から「兼7」に変更。
- ・学部のカリキュラム充実を目的とした実験的講座「ダイバーシティと情報通信」(兼1)開設した。
- ・企業からの寄付講座「データ分析実践」(兼1)を開設した。
- ・昇格の理由により、「1年セミナーA,B,C」「2年セミナーA,B,C」「3年セミナーA,B,C」「4年セミナーA,B,C」「卒業研究プロジェクト」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「教授9」から「教授10」に変更。
- ・昇格の理由により、「多国籍企業論」、「ミクロ・マクロ経済分析」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・2017年度入学者増に伴う英語クラス増および英語時間帯変更のため、英語コミュニケーションクラスおよびプレゼンテーションⅢの兼任講師の配置を「兼3」から「兼9」に変更。
- ・2017年度入学者増に伴う英語クラス増および英語時間帯変更のため、英語Reading およびWritingクラスの兼任講師の配置を「兼5」から「兼8」に変更。
- ・英語クラスの時間帯変更に伴い、英語コミュニケーションⅠ、リスニング&ディスカッションⅠの兼任講師の配置を「兼3」から「兼6」に変更。
- ・英語クラスの時間帯変更に伴い、英語リーディングⅠ、ライティングⅠの兼任講師の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・英語クラスの時間帯変更に伴い、英語コミュニケーションⅡ、リスニング&ディスカッションⅡの兼任講師の配置を「兼3」から「兼6」に変更。
- ・大学設置認可時の改善意見に従い、「経済政策論」(兼1)を開設した。
- ・学部のカリキュラム充実を目的とした実験的講座「ダイバーシティと情報通信」(兼1)、「北欧から見える世界」(兼4)、「Math Camp」(兼2)を開設した。
- ・企業からの寄付講座「データ分析実践」(兼1)、「上場会社におけるディスクロージャー制度」(兼1)を開設した。
- ・大学方針としての国際化推進の目的のため、「Pre-Study-Abroad Course」(兼1)、「Peace & Conflict Studies」(兼1)を開設した。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
61 科目	70 科目	14 科目	145 科目 []	61 科目 []	71 科目 [1]	24 科目 [10]	156 科目 [167]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{145} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)			
	校舎敷地	77,852㎡	0㎡	0㎡	77,852㎡				
	運動場用地	9,852㎡	0㎡	0㎡	9,852㎡				
	小 計	87,704㎡	0㎡	0㎡	87,704㎡				
	そ の 他	16,312㎡	0㎡	0㎡	16,312㎡				
	合 計	104,016㎡	0㎡	0㎡	104,016㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	講堂(津田ホール)取 り壊しのため(元) 新校舎の建物登記を 行ったため登記面積に 合わせて変更。				
	35,172㎡ 39,765㎡ 39,134㎡ (35,172㎡ 39,765㎡ 39,134㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	35,172㎡ 39,765㎡ 39,134㎡ (35,172㎡ 39,765㎡ 39,134㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	10室	13室	0室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成31年4月 専任教授1名を新規 採用のため(元)			
	総合政策学部 総合政策学科		25 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書には電子書籍を 含む。 学術雑誌は電子形態 での購読を原則とした。	
	総合政策学部	21,000 [7,000] 17,441 [6,145]- 18,721 [6,811]	120 [80] 2 [0] 備考参照	3,300 [3200] 5,560 [5,460]- 5,739 [5,639]	1,600 1,240 1,286	0 (0)	0 (0)		
	計	21,000 [7,000] 17,441 [6,145]- 18,721 [6,811]	120 [80] 2 [0] 備考参照	3,300 [3200] 5,560 [5,460]- 5,739 [5,639]	1,600 1,240 1,286	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	512㎡		128		20,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費予算の見直し 購入図書変更(29) 購入図書変更(30) 設備購入時費用削減
		教員1人当り研究費等	350千円 3,500千円	350千円 1,119千円	図書購入費	45,102千円 45,000千円	9,936千円 25,000千円	25,000千円	
		共同研究費等	40,000千円 1,000千円	40,000千円 1,000千円	設備購入費	326,778千円 500,000千円	4,956千円 17,666千円	55,752千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学費見直し	
		1,280千円 1,310千円	1,093千円 1,123千円	1,106千円 1,136千円	1,119千円 1,149千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		国庫補助金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	津田塾大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
学芸学部									東京都小平市津田 町2丁目1番1号	
多文化・国際協力学科	4	70	-	70	学士 (多文化・国 際協力学)	1.20		平成31年		
英語英文学科	4	220	-	955	学士 (英文学)	1.10		昭和23年		
国際関係学科	4	200	-	935	学士 (国際関係 学)	1.14		昭和44年		
数学科	4	45	-	180	学士 (理学)	1.23		昭和24年		
情報科学科	4	45	-	180	学士 (理学)	1.25		昭和18年		
総合政策学部									東京都渋谷区千 駄ヶ谷1丁目18番 24号	
総合政策学科	4	110	-	330	学士 (総合政策 学)	1.15		平成29年		
大学全体		690		2650		1.14				
文学研究科									東京都小平市津田 町2丁目1番1号	
英文学専攻（修士課程）	2	15	-	30	修士 (文学)	0.99		昭和38年		
英文学専攻 （後期博士課程）	3	5	-	15	博士 (文学)	0.40		昭和40年		
国際関係学研究科									東京都小平市津田 町2丁目1番1号	
国際関係論専攻 （修士課程）	2	10	-	20	修士(国際 関係学)	0.22		昭和49年		
国際関係論専攻 （後期博士課程）	3	3	-	9	博士(国際 関係学)	0.33		昭和51年		
理学研究科									東京都小平市津田 町2丁目1番1号	
数学専攻（修士課程）	2	5	-	10	修士 (理学)	0.70		昭和38年		
数学専攻 （後期博士課程）	3	2	-	6	博士 (理学)	0.00		昭和47年		
理学研究科										
情報科学専攻 （修士課程）	2	5	-	10	修士 (理学)	0.85		平成22年		
情報科学専攻 （後期博士課程）	3	1	-	3	博士 (理学)	0.00		平成24年		
大学院全体		46	-	103		0.60				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<総合政策学部 総合政策学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田近 裕子 <平成29年4月> Ph.D. (アメリカ)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IC Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC 語学研修

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田近 裕子 <平成29年4月> Ph.D. (アメリカ)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IC Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC 語学研修

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田近 裕子 <平成29年4月> Ph.D. (アメリカ)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IC Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC 語学研修

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田近 裕子 <平成29年4月> Ph.D. (アメリカ)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IC Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC 語学研修

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	萱野 稔人 平成29年4月 DIPLOME DE DOCTEUR PHILOSOPHIE (フランス)	専	教授	萱野 稔人 平成29年4月 DIPLOME DE DOCTEUR PHILOSOPHIE (フランス)	専	教授	萱野 稔人 平成29年4月 DIPLOME DE DOCTEUR PHILOSOPHIE (フランス)	専	教授	萱野 稔人 平成29年4月 DIPLOME DE DOCTEUR PHILOSOPHIE (フランス)
		政治とは何か 総合政策概論A 総合政策概論B 公共哲学 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト			政治とは何か 総合政策概論A 総合政策概論B 公共哲学 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト			政治とは何か 総合政策概論A 総合政策概論B 公共哲学 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト			
専	教授	森川(渡邊) 美絵 平成29年4月 博士(学術)	専	教授	森川(渡邊) 美絵 平成29年4月 博士(学術)	専	教授	森川(渡邊) 美絵 平成29年4月 博士(学術)	専	教授	森川(渡邊) 美絵 平成29年4月 博士(学術)
		地域ケア論 福祉政策論 能力開発論 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト			地域ケア論 福祉政策論 能力開発論 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト			地域ケア論 福祉政策論 能力開発論 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト			
専	教授	伊藤 るり 平成30年4月 DOCTEUR DE TROISIEME CYCLE EN SOCIOLOGIE (フランス)	専	教授	伊藤 るり 平成30年4月 DOCTEUR DE TROISIEME CYCLE EN SOCIOLOGIE (フランス)	専	教授	伊藤 るり 平成30年4月 DOCTEUR DE TROISIEME CYCLE EN SOCIOLOGIE (フランス)	専	教授	伊藤 るり 平成30年4月 DOCTEUR DE TROISIEME CYCLE EN SOCIOLOGIE (フランス)
		ジェンダーと社会変動 人の国際移動と社会の多文化 化 ダイバーシティ社会論 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト			ジェンダーと社会変動 人の国際移動と社会の多文化 化 ダイバーシティ社会論 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト			ジェンダーと社会変動 人の国際移動と社会の多文化 化 ダイバーシティ社会論 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト			
		Gavan Patrick Gray 平成29年4月 PhD. (Politics and International Relations) (イギリス)			Gavan Patrick Gray 平成29年4月 PhD. (Politics and International Relations) (イギリス)			Gavan Patrick Gray 平成29年4月 PhD. (Politics and International Relations) (イギリス)			Gavan Patrick Gray 平成29年4月 PhD. (Politics and International Relations) (イギリス)
		Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決 のためのインター・パーソ ナル・コミュニケーションの基 礎) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決 のためのインター・パーソ ナル・コミュニケーション) I B Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決 のためのコンパッションネッ ト・コミュニケーション) I C			Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決 のためのインター・パーソ ナル・コミュニケーションの基 礎) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決 のためのインター・パーソ ナル・コミュニケーション) I B Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決 のためのコンパッションネッ ト・コミュニケーション) I C			Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決 のためのインター・パーソ ナル・コミュニケーションの基 礎) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決 のためのインター・パーソ ナル・コミュニケーション) I B Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決 のためのコンパッションネッ ト・コミュニケーション) I C			

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤(安福) 由希子 平成29年4月 Ph. D. in Economics (アメリカ)
		経済の仕組み 計量経済の基礎 多国籍企業論 医療・介護の経済分析 ミクロ・マクロ経済分析 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト
専	特任助教	鈴木 貴久 平成29年4月 博士(学術)
		統計Ⅰ(演習付講義) 統計Ⅱ(演習付講義) Web情報システム論 社会調査入門 プログラミング入門
兼 担・	准教授	柴田 邦臣 平成30年4月 博士(文学)
		ソーシャルインクルージョン論
兼任	講師	船林 麻理 平成29年4月 修士(文学)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC
兼任	講師	大島 万里子 平成29年4月 M. A. in TESOL (アメリカ)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤(安福) 由希子 平成29年4月 Ph. D. in Economics (アメリカ)
		経済の仕組み 計量経済の基礎 多国籍企業論 医療・介護の経済分析 ミクロ・マクロ経済分析 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト
専	特任助教	鈴木 貴久 平成29年4月 博士(学術)
		統計Ⅰ(演習付講義) 統計Ⅱ(演習付講義) Web情報システム論 社会調査入門 プログラミング入門
兼 担・	准教授	柴田 邦臣 平成30年4月 博士(文学)
		ソーシャルインクルージョン論
兼任	講師	船林 麻理 平成29年4月 修士(文学)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC
兼任	講師	大島 万里子 平成29年4月 M. A. in TESOL (アメリカ)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤(安福) 由希子 平成29年4月 Ph. D. in Economics (アメリカ)
		経済の仕組み 計量経済の基礎 多国籍企業論 医療・介護の経済分析 ミクロ・マクロ経済分析 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト
専	特任助教	鈴木 貴久 平成29年4月 博士(学術)
		統計Ⅰ(演習付講義) 統計Ⅱ(演習付講義) Web情報システム論 社会調査入門 プログラミング入門
兼 担・	准教授	柴田 邦臣 平成30年4月 博士(文学)
		ソーシャルインクルージョン論
兼任	講師	船林 麻理 平成29年4月 修士(文学)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC
兼任	講師	大島 万里子 平成29年4月 M. A. in TESOL (アメリカ)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤(安福) 由希子 平成29年4月 Ph. D. in Economics (アメリカ)
		経済の仕組み 計量経済の基礎 多国籍企業論 医療・介護の経済分析 ミクロ・マクロ経済分析 1年セミナーA 1年セミナーB 1年セミナーC 2年セミナーA 2年セミナーB 2年セミナーC 3年セミナーA 3年セミナーB 3年セミナーC 4年セミナーA 4年セミナーB 4年セミナーC 卒業研究プロジェクト
専	特任助教	鈴木 貴久 平成29年4月 博士(学術)
		統計Ⅰ(演習付講義) 統計Ⅱ(演習付講義) Web情報システム論 社会調査入門 プログラミング入門
兼 担・	准教授	柴田 邦臣 平成30年4月 博士(文学)
		ソーシャルインクルージョン論
兼任	講師	船林 麻理 平成29年4月 修士(文学)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC
兼任	講師	大島 万里子 平成29年4月 M. A. in TESOL (アメリカ)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼 任	講師	津島 玲子 平成29年4月 M. A. in TESOL (アメリカ)	兼 任	講師	津島 玲子 平成29年4月 M. A. in TESOL (アメリカ)	兼 任	講師	津島 玲子 M. A. in TESOL (アメリカ) 平成29年4月	兼 任	講師	津島 玲子 平成29年4月 M. A. in TESOL (アメリカ)
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC			Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC			Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC			Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC
兼 任	講師	廣田 尚美 平成29年4月 修士(文学) ※	兼 任	講師	廣田 尚美 平成29年4月 修士(文学) ※	兼 任	講師	廣田 尚美 平成29年4月 修士(文学) ※	兼 任	講師	廣田 尚美 平成29年4月 修士(文学) ※
		Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC			Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC			Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC			Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC
		Thomas George Meyer 平成29年4月 Mphil in Education Research (イギリス)			Thomas George Meyer Mphil in Education Research (イギリス) 平成29年4月			Thomas George Meyer 平成29年4月 Mphil in Education Research (イギリス)			Thomas George Meyer 平成29年4月 Mphil in Education Research (イギリス)
		Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IC			Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IC			Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IC Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のためのネゴシエーション・コミュニケーション) IA Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解決のためのコンフリクト・レゾリューション・コミュニケーション) IA Mediation Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのミーディエーション・コミュニケーション) IA Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB Compassionate			Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内容重視の英語運用) IC Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のためのネゴシエーション・コミュニケーション) IA Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解決のためのコンフリクト・レゾリューション・コミュニケーション) IA Mediation Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのミーディエーション・コミュニケーション) IA Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB Compassionate

専 兼 任 の 別	職 名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	<p>Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパッションネット・コミュニケーション) IC</p> <p>Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) IIA</p> <p>Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) IIB</p> <p>Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) IIC</p> <p>Leadership Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダーシップ・コミュニケーション) IIIA</p> <p>Management Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB</p> <p>Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) IIIC</p> <p>Basics of Content-based Presentation Skills (B-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成の基礎) IIIA</p> <p>Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) IIIB</p> <p>Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) IIIC</p>
兼任	講師	Michael Rayner 平成29年4月 MA TESOL (Distinction) (イギリス)	兼任	講師	Michael Rayner 平成29年4月 MA TESOL (Distinction) (イギリス)	兼任	講師	Michael Rayner 平成29年4月 MA TESOL (Distinction) (イギリス)	兼任	講師	Michael Rayner 平成29年4月 MA TESOL (Distinction) (イギリス)
		Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーションの基礎) IA			Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーションの基礎) IA			Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーションの基礎) IA			Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーションの基礎) IA
		Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB			Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB			Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB			Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB
		Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパッションネット・コミュニケーション) IC			Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパッションネット・コミュニケーション) IC			Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパッションネット・コミュニケーション) IC			Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパッションネット・コミュニケーション) IC
兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師		兼任	講師	<p>Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のためのネゴシエーション・コミュニケーション) IIA</p> <p>Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解決のためのコンフリクト・レゾリューション・コミュニケーション) IIB</p>

専 兼 任 の 別	職 名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職 名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職 名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職 名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								グカを養う内容重視の英語 運用) II C			グカを養う内容重視の英語 運用) II C Leadership Communication for Problem Solving(L- CPS) (課題解決のための リーダーシップ・コミュニ ケーション) IIIA Management Communication for Problem Solving(M- CPS) (課題解決のためのマ ネジメント・コミュニケ ーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解 決のためのコミュニケ ーション) IIIC Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC- CPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIC
兼 任	講 師	David Pinkney 平成29年4月 M. A. in TESOL with Distinction (アメリカ)	兼 任	講 師	David Pinkney 平成29年4月 M. A. in TESOL with Distinction (アメリカ)	兼 任	講 師	David Pinkney 平成29年4月 M. A. in TESOL with Distinction (アメリカ)	兼 任	講 師	David Pinkney 平成29年4月 M. A. in TESOL with Distinction (アメリカ)
		Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IC Negotiation Communication for Problem Solving (N- CPS) (課題解決のためのネ ゴシエーション・コミュニ ケーション) IIA Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解 決のためのコンフリクト・レ ゾリューション・コミュニ ケーション) IIB Mediation Communication for Problem Solving(M- CPS) (課題解決のためのミ ディエーション・コミュニ ケーション) IIC Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC- CPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIC			Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IC Negotiation Communication for Problem Solving (N- CPS) (課題解決のためのネ ゴシエーション・コミュニ ケーション) IIA Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解 決のためのコンフリクト・レ ゾリューション・コミュニ ケーション) IIB Mediation Communication for Problem Solving(M- CPS) (課題解決のためのミ ディエーション・コミュニ ケーション) IIC Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) III A Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視 のプレゼンテーション力養 成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視 のプレゼンテーション力養 成) IIIC			Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IC Negotiation Communication for Problem Solving (N- CPS) (課題解決のためのネ ゴシエーション・コミュニ ケーション) IIA Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解 決のためのコンフリクト・ レゾリューション・コミュニ ケーション) IIB Mediation Communication for Problem Solving(M- CPS) (課題解決のためのミ ディエーション・コミュニ ケーション) IIC Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC- CPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIC			Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IC Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) III A Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視 のプレゼンテーション力養 成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視 のプレゼンテーション力養 成) IIIC Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) IIA Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) IIB Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) IIC

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師		兼任	講師	大島 幸 平成29年4月 修士(文学)	兼任	講師	大島 幸 平成29年4月 修士(文学)	兼任	講師	大島 幸 平成29年4月 修士(文学)
					Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作文) IC			Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IC			Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IC Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC
兼任	講師	熊野 真理 平成30年4月 Master of Arts (イギリス)	兼任	講師	熊野 真理 平成30年4月 Master of Arts (イギリス)	兼任	講師	熊野 真理 平成30年4月 Master of Arts (イギリス)	兼任	講師	
		Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IC			Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IC			Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IC			

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II C	兼任	講師	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II C	兼任	講師	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II C	兼任	講師	Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) II C Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC
兼任	講師	執行 智子 平成30年4月 修士(文学) ※ Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIC	兼任	講師	執行 智子 平成30年4月 修士(文学) ※ Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIC	兼任	講師	執行 智子 平成30年4月 修士(文学) ※ Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIC Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIC	兼任	講師	町田 晶子 平成30年4月 修士(文学) Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIC Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIC
兼任	講師	町田 晶子 平成30年4月 修士(文学) Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIC	兼任	講師	町田 晶子 平成30年4月 修士(文学) Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIC	兼任	講師	町田 晶子 平成30年4月 修士(文学) Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIC Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIC	兼任	講師	町田 晶子 平成30年4月 修士(文学) Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIA Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIB Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視のプロセス英語作文) IIC Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIA Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIB Critical Thinking in Content-based Reading (CT-CBR) (内容重視の英文読解におけるクリティカル・シンキング) IIC

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	小坂 洋子 平成30年4月 Master of Arts Teaching Foreign Language (アメリカ)	兼任	講師	小坂 洋子 平成30年4月 Master of Arts Teaching Foreign Language (アメリカ)						
		Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視の プロセス英語作文) II A Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視の プロセス英語作文) II B Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視の プロセス英語作文) II C			Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視の プロセス英語作文) II A Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視の プロセス英語作文) II B Content-based Process Writing (CBPW) (内容重視の プロセス英語作文) II C						
兼任	講師	Clarence Ray Bussinger 平成30年4月 M.A. in English (アメリカ) ※	兼任	講師	Clarence Ray Bussinger 平成29年4月 M.A. in English (アメリカ) ※	兼任	講師	Clarence Ray Bussinger 平成29年4月 M.A. in English (アメリカ) ※	兼任	講師	Clarence Ray Bussinger 平成29年4月 M.A. in English (アメリカ) ※
		Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II A Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II B Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II C			Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II A Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II B Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II C Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IC			Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II A Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II B Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II C			Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II A Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II B Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) II C Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解 決のためのインター・パー ソナル・コミュニケーション・シ ョンの基礎) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解 決のためのインター・パー ソナル・コミュニケーション・シ ョン) IB Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解 決のためのコンパッション ト・コミュニケーション・シ ョン) IC Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IC Negotiation Communication for Problem Solving (N- CPS) (課題解決のためのネ ゴシエーション・コミュニ ケーション) II A Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解 決のためのコンフリクト・ レゾリューション・コミュ ニケーション) II B Mediation Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のための ミーディエーション・コ ミュニケーション) II C Leadership Communication for Problem Solving (L- CPS) (課題解決のための リーダーシップ・コミュニ ケーション) III A Management Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のためのマ ネジメント・コミュニケ ーション) III B

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
											Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) III C Basics of Content-based Presentation Skills (B-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成の基礎) III A Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) III B Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) III C
兼任	講師	Andy Maggs 平成30年4月 M. A. Applied Linguistics (イギリス)	兼任	講師	Andy Maggs 平成30年4月 M. A. Applied Linguistics (イギリス)	兼任	講師		兼任	講師	
		Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II A Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II B Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II C			Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II A Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II B Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II C						
兼任	講師	村野 緑 平成31年4月 TESOL M. A. (アメリカ)	兼任	講師	村野 緑 平成31年4月 TESOL M. A. (アメリカ)	兼任	講師	村野 緑 平成31年4月 TESOL M. A. (アメリカ)	兼任	講師	村野 緑 平成31年4月 TESOL M. A. (アメリカ)
		Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) III A Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) III B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) III C			Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) III A Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) III B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) III C			Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) III A Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) III B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) III C			Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) III A Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) III B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) III C Economios-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) III A Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) III B Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) III C

専 兼 任 の 別	職 名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								<p>Carey Mamiko Nakata 平成30年4月 M.Ed in TESOL (アメリカ)</p> <p>Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (GT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II A Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (GT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II B Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (GT-CBLD) (クリティカル・シンキング力を養う内容重視の英語運用) II C</p>			<p>Carey Mamiko Nakata 平成30年4月 M.Ed in TESOL (アメリカ)</p> <p>Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーションの基礎) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決のためのインター・パーソナル・コミュニケーション) IB Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決のためのコンパッション・コミュニケーション) IC Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のためのネゴシエーション・コミュニケーション) II A Conflict Resolution Communication for Problem Solving (CR-CPS) (課題解決のためのコンフリクト・レゾリューション・コミュニケーション) II B Mediation Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのミーディエーション・コミュニケーション) II C Leadership Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダーシップ・コミュニケーション) III A Management Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) III B Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) III C</p>
兼 任	講 師	伊藤 幸子 平成31年4月 教養学士	兼 任	講 師	伊藤 幸子 教養学士 平成31年4月	兼 任	講 師	伊藤 幸子 平成31年4月 教養学士	兼 任	講 師	伊藤 幸子 平成31年4月 教養学士
		<p>Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) III A Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) III B Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) III C Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) III A Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) III B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) III C</p>			<p>Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) III A Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) III B Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) III C Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) III A Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) III B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) III C</p>			<p>Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) III A Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) III B Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) III C Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) III A Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) III B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) III C</p>			<p>Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) III A Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) III B Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) III C Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) III A Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) III B Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) III C</p>

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	Peter John Collins 平成31年4月 M. A. T in TESOL (アメリカ)	兼任	講師	Peter John Collins 平成31年4月 M. A. T in TESOL (アメリカ)	兼任	講師	Peter John Collins 平成31年4月 M. A. T in TESOL (アメリカ)	兼任	講師	Peter John Collins 平成31年4月 M. A. T in TESOL (アメリカ)
		Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読 解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題 の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読 解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデ ミック・ライティングの基 礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミ ック・ライティングのための リサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS- AW) (アカデミック・ライ ティングにおける課題解決 論文) IIIC			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読 解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題 の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課 題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライ ティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミ ック・ライティングのためのリ サーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS- AW) (アカデミック・ライテ ィングにおける課題解決論文) IIIC			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読 解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題 の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読 解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデ ミック・ライティングの基 礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミ ック・ライティングのための リサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS- AW) (アカデミック・ライ ティングにおける課題解決 論文) IIIC			Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読 解) IC Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IA Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IB Content-based Writing (CBW) (内容重視の英語作 文) IC
兼任	講師	Geoffrey Pierce 平成31年4月 M. Ed. in international, comparative and development education (アメリカ)	兼任	講師	Geoffrey Pierce 平成31年4月 M. Ed. in international, comparative and development education (アメリカ)	兼任	講師	Geoffrey Pierce 平成31年4月 M. Ed. in international, comparative and development education (アメリカ)			
		Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC- CPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIC			Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) III A Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視 のプレゼンテーション力養 成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視 のプレゼンテーション力養 成) IIIC			Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC- CPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIC			
兼任	講師	峰松 和子 平成31年4月 修士(文学) ※	兼任	講師	峰松 和子 平成31年4月 修士(文学) ※	兼任	講師	峰松 和子 平成31年4月 修士(文学) ※			
		Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読 解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題 の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読 解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデ ミック・ライティングの基 礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミ ック・ライティングのための リサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS- AW) (アカデミック・ライ ティングにおける課題解決 論文) IIIC			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読 解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題 の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課 題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライ ティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミ ック・ライティングのためのリ サーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS- AW) (アカデミック・ライテ ィングにおける課題解決論文) IIIC			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読 解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題 の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読 解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデ ミック・ライティングの基 礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミ ック・ライティングのための リサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS- AW) (アカデミック・ライ ティングにおける課題解決 論文) IIIC			

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高岡 幸世 平成31年4月 修士(文学)	兼任	講師	高岡 幸世 平成29年4月 修士(文学)	兼任	講師	高岡 幸世 平成29年4月 修士(文学)	兼任	講師	
		Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IA Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IB Content-based Reading (CBR) (内容重視の英文読解) IC			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC			
兼任	講師	Patricia Yarrow 平成31年4月 M.A. in East Asian Languages and Civilizations: Japanese (アメリカ)	兼任	講師	Patricia Yarrow 平成31年4月 M.A. in East Asian Languages and Civilizations: Japanese (アメリカ)	兼任	講師	Patricia Yarrow 平成31年4月 M.A. in East Asian Languages and Civilizations: Japanese (アメリカ)	兼任	講師	Patricia Yarrow 平成31年4月 M.A. in East Asian Languages and Civilizations: Japanese (アメリカ)
		Leadership Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダーシップ・コミュニケーション) IIIA Management Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) IIIC			Leadership Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダーシップ・コミュニケーション) IIIA Management Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) IIIC			Leadership Communication for Problem Solving (L-CPS) (課題解決のためのリーダーシップ・コミュニケーション) IIIA Management Communication for Problem Solving (M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) IIIC			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデミック・ライティングの基礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミック・ライティングのためのリサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS-AW) (アカデミック・ライティングにおける課題解決論文) IIIC
兼任	講師	北島 裕子 平成31年4月 Master of Arts in English Language Teaching (オーストラリア)	兼任	講師	北島 裕子 平成31年4月 Master of Arts in English Language Teaching (オーストラリア)	兼任	講師	北島 裕子 平成31年4月 Master of Arts in English Language Teaching (オーストラリア)	兼任	講師	
		Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC			Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読解) IIIC			

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Robert Spivak 平成31年4月 M.A. English (カナダ)
		Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC- CPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIC

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Robert Spivak 平成31年4月 M.A. English (カナダ)
		Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC- CPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIC

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Robert Spivak 平成30年4月 M.A. English (カナダ)
		Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC- CPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIC Negotiation Communication for Problem Solving (N-CPS) (課題解決のためのネゴシ エーション・コミュニケ ーション) IIA Conflict Resolution Communication for Problem Solving (GR-CPS) (課題解決のためのコンフ リクト・レゾリュエーショ ン・コミュニケーション) IIB Mediation Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のための ミーディエーション・コ ミュニケーション) IIC

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Robert Spivak 平成30年4月 M.A. English (カナダ)
		Negotiation Communication for Problem Solving (N- CPS) (課題解決のためのネ ゴシエーション・コミュニ ケーション) IIA Conflict Resolution Communication for Problem Solving (GR-CPS) (課題解 決のためのコンフリクト・ レゾリュエーション・コミュ ニケーション) IIB Mediation Communication for Problem Solving (M- CPS) (課題解決のための ミーディエーション・コ ミュニケーション) IIC Basics of Interpersonal Communication for Problem Solving (BI-CPS) (課題解 決のためのインター・パー ソナル・コミュニケーション) の基礎) IA Interpersonal Communication for Problem Solving (I-CPS) (課題解決 のためのインター・パーソ ナル・コミュニケーション) IB Compassionate Communication for Problem Solving (C-CPS) (課題解決 のためのコンパッション ト・コミュニケーション) IG
兼任	講師	Betsy Terada 平成31年4月 M.A. in TESOL (アメリカ)
		Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IA Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IB Content-based Listening and Discussion (CBLD) (内 容重視の英語運用) IG Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) IIA Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) IIB Critical Thinking in Content-based Listening and Discussion (CT-CBLD) (クリティカル・シンキン グ力を養う内容重視の英語 運用) IIC Basics of Content-based Presentation Skills(B- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC- CBPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC- CPS) (内容重視のプレゼン テーション力養成) IIIC

専 兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等										
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
											兼任 講師	<p>Yayoi Anzai 平成31年4月 博士 (学術)</p> <p>Leadership Communication for Problem Solving(L-CPS) (課題解決のためのリーダーシップ・コミュニケーション) IIIA Management Communication for Problem Solving(M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) IIIC</p>
											兼任 講師	<p>Jun Julien Nohara 平成31年4月 MA in Public Affairs (フランス)</p> <p>Leadership Communication for Problem Solving(L-CPS) (課題解決のためのリーダーシップ・コミュニケーション) IIIA Management Communication for Problem Solving(M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) IIIC</p>
											兼任 講師	<p>Natalia Novikova 平成31年4月 博士 (国際日本研究)</p> <p>Leadership Communication for Problem Solving(L-CPS) (課題解決のためのリーダーシップ・コミュニケーション) IIIA Management Communication for Problem Solving(M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) IIIC</p>
											兼任 講師	<p>Laura-Anca Parepa 平成31年4月 博士 (国際公共政策)</p> <p>Leadership Communication for Problem Solving(L-CPS) (課題解決のためのリーダーシップ・コミュニケーション) IIIA Management Communication for Problem Solving(M-CPS) (課題解決のためのマネジメント・コミュニケーション) IIIB Skills Integration in Communication for Problem Solving (SI-CPS) (課題解決のためのコミュニケーション) IIIC</p>

専 兼 任 の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									兼任	講師	<p>Adilan Abudurehman 平成31年4月 修士(国際アドミニストレーション)</p> <p>Basics of Content-based Presentation Skills (B-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) IIIC</p>
									兼任	講師	<p>Clara Kumagai 平成31年4月 MFA Creative Writing (カナダ)</p> <p>Basics of Content-based Presentation Skills (B-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) IIIC</p>
									兼任	講師	<p>Richard Salmons 平成31年4月 Ph. D in Political Science (オーストラリア)</p> <p>Basics of Content-based Presentation Skills (B-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成の基礎) IIIA Delivering Competency in Content-based Presentation Skills (DC-CBPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) IIIB Interactive Competency in Content-based Presentation Skills (IC-CPS) (内容重視のプレゼンテーション力養成) IIIC</p>

専 兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等										
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
											兼任 講師	保科 伸子 平成31年4月 修士(文学) Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読 解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題 の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読 解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデ ミック・ライティングの基 礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミッ ク・ライティングのための リサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS- AW) (アカデミック・ライ ティングにおける課題解決 論文) IIIC
											兼任 講師	亀田 知子 平成31年4月 修士(文学) Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読 解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題 の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読 解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデ ミック・ライティングの基 礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミッ ク・ライティングのための リサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS- AW) (アカデミック・ライ ティングにおける課題解決 論文) IIIC
											兼任 講師	柳田 利枝 平成31年4月 修士(文学) Economics-oriented Advanced Reading (EO-AR) (経済的課題の上級英文読 解) IIIA Law-oriented Advanced Reading (LO-AR) (法的課題 の上級英文読解) IIIB Politics-oriented Advanced Reading (PO-AR) (政治的課題の上級英文読 解) IIIC Basics of Academic Writing (B-AW) (アカデ ミック・ライティングの基 礎) IIIA Research for Academic Writing (R-AW) (アカデミッ ク・ライティングのための リサーチ) IIIB Problem-solution in Academic Writing (PS- AW) (アカデミック・ライ ティングにおける課題解決 論文) IIIC

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	荒田(下川) 映子 平成29年4月 修士(経済学)
		会計(演習付講義)
兼任	講師	福原 明雄 平成29年4月 博士(法学)
		分配のポリティクス 共生社会と法
兼任	講師	黒田 順子 平成30年4月 国際学修士
		平和構築
兼任	講師	金 敬黙 平成30年4月 博士(学術)
		プロバガンダとアドボカシー
兼任	講師	山田 朋美 平成30年4月 修士(国際関係学) ※
		文化交流論
兼任	講師	西村 善嗣 平成31年4月 法学士
		法制度設計
兼任	講師	眞田 康弘 平成31年4月 博士(政治学)
		環境政策論
兼任	講師	館 健太郎 平成29年4月 博士(経済学)
		企業の社会的責任
兼任	講師	中川 まり 博士(社会科学) 平成29年4月
		雇用経済論
兼任	講師	加藤 拓 平成30年4月 修士(国際関係学) ※
		マーケティング戦略
兼任	講師	中村 豪 平成30年4月 博士(経済学)
		イノベーションと社会
兼任	講師	澤田 悠紀 平成31年4月 Master of Laws (アメリカ)
		知的財産法
兼任	講師	雨森 拓児 平成30年4月 工学士
		メディア産業論

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	荒田(下川) 映子 平成29年4月 修士(経済学)
		会計(演習付講義)
兼任	講師	福原 明雄 平成29年4月 博士(法学)
		分配のポリティクス 共生社会と法
兼任	講師	黒田 順子 平成29年4月 国際学修士
		平和構築 International Training Course A
兼任	講師	金 敬黙 平成30年4月 博士(学術)
		プロバガンダとアドボカシー
兼任	講師	山田 朋美 平成30年4月 修士(国際関係学) ※
		文化交流論
兼任	講師	西村 善嗣 平成31年4月 法学士
		法制度設計
兼任	講師	眞田 康弘 平成31年4月 博士(政治学)
		環境政策論
兼任	講師	館 健太郎 平成29年4月 博士(経済学)
		企業の社会的責任
兼任	講師	中川 まり 平成29年4月 博士(社会科学)
		雇用経済論
兼任	講師	加藤 拓 平成30年4月 修士(国際関係学) ※
		マーケティング戦略
兼任	講師	中村 豪 平成30年4月 博士(経済学)
		イノベーションと社会
兼任	講師	澤田 悠紀 平成31年4月 Master of Laws (アメリカ)
		知的財産法
兼任	講師	雨森 拓児 平成30年4月 工学士
		メディア産業論

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	荒田(下川) 映子 平成29年4月 修士(経済学)
		会計(演習付講義)
兼任	講師	福原 明雄 平成29年4月 博士(法学)
		分配のポリティクス 共生社会と法
兼任	講師	黒田 順子 平成29年4月 国際学修士
		平和構築 International Training Course A
兼任	講師	金 敬黙 平成30年4月 博士(学術)
		プロバガンダとアドボカシー
兼任	講師	山田 朋美 平成30年4月 修士(国際関係学) ※
		文化交流論
兼任	講師	西村 善嗣 平成31年4月 法学士
		法制度設計
兼任	講師	眞田 康 平成31年4月 博士(政治学)
		環境政策論
兼任	講師	館 健太郎 平成29年4月 博士(経済学)
		企業の社会的責任
兼任	講師	中川 まり 平成29年4月 博士(社会科学)
		雇用経済論
兼任	講師	加藤 拓 平成30年4月 修士(国際関係学) ※
		マーケティング戦略
兼任	講師	中村 豪 平成30年4月 博士(経済学)
		イノベーションと社会
兼任	講師	澤田 悠紀 平成31年4月 Master of Laws (アメリカ)
		知的財産法
兼任	講師	雨森 拓児 平成30年4月 工学士
		メディア産業論

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	荒田(下川) 映子 平成29年4月 修士(経済学)
		会計(演習付講義)
兼任	講師	福原 明雄 平成29年4月 博士(法学)
		分配のポリティクス 共生社会と法
兼任	講師	黒田 順子 平成29年4月 国際学修士
		平和構築 International Training Course A
兼任	講師	金 敬黙 平成30年4月 博士(学術)
		プロバガンダとアドボカシー
兼任	講師	山田 朋美 平成30年4月 修士(国際関係学) ※
		文化交流論
兼任	講師	西村 善嗣 平成31年4月 法学士
		法制度設計
兼任	講師	眞田 康弘 平成31年4月 博士(政治学)
		環境政策論
兼任	講師	館 健太郎 平成29年4月 博士(経済学)
		企業の社会的責任
兼任	講師	中川 まり 平成29年4月 博士(社会科学)
		雇用経済論
兼任	講師	加藤 拓 平成30年4月 修士(国際関係学) ※
		マーケティング戦略
兼任	講師	中村 豪 平成30年4月 博士(経済学)
		イノベーションと社会
兼任	講師	澤田 悠紀 平成31年4月 Master of Laws (アメリカ)
		知的財産法
兼任	講師	雨森 拓児 平成30年4月 工学士
		メディア産業論

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 文洋 平成31年4月 工学士
		スマートコミュニティ論
兼任	講師	渡辺 克也 平成31年4月 工学士
		情報通信政策
兼任	講師	宮澤 一洋 平成31年4月 経済学士
		経営情報システム
兼任	講師	花澤 隆 平成31年4月 修士(工学)
		技術経営論
兼任	講師	福重 秀文 平成31年4月 専門学校卒
		健康医療情報システム
兼任	講師	村木 厚子 平成29年4月 経済学士
		社会実践の諸相 女性のキャリア開発
兼任	講師	原 由利子 平成29年4月 Master of Arts (イギリス)
		コミュニティスタディ
兼任	講師	泉田 信行 平成30年4月 経済学修士 ※
		少子高齢化の進展と社会保 障の持続可能性
兼任	講師	岩田 美香 平成30年4月 教育学博士
		子どもの貧困と教育格差
兼任	講師	工藤 恵子 平成31年4月 博士(保健学)
		ソーシャル・ヘルス・マネ ジメント
兼任	講師	中村 明雄 平成30年4月 法学士
		法と公共政策
兼任	講師	室伏 康志 平成30年4月 Master of Law (アメリカ)
		経済活動のための法
兼任	講師	小宮 京 平成30年4月 博士(法学)
		日本政治史

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 文洋 平成31年4月 工学士
		スマートコミュニティ論
兼任	講師	渡辺 克也 平成31年4月 工学士
		情報通信政策
兼任	講師	宮澤 一洋 平成31年4月 経済学士
		経営情報システム
兼任	講師	花澤 隆 平成31年4月 修士(工学)
		技術経営論
兼任	講師	福重 秀文 平成31年4月 専門学校卒
		健康医療情報システム
兼任	講師	村木 厚子 平成29年4月 経済学士
		社会実践の諸相 女性のキャリア開発
兼任	講師	原 由利子 平成29年4月 Master of Arts (イギリス)
		コミュニティスタディ
兼任	講師	泉田 信行 平成30年4月 経済学修士 ※
		少子高齢化の進展と社会保 障の持続可能性
兼任	講師	岩田 美香 平成30年4月 教育学博士
		子どもの貧困と教育格差
兼任	講師	工藤 恵子 平成31年4月 博士(保健学)
		ソーシャル・ヘルス・マネ ジメント
兼任	講師	中村 明雄 平成30年4月 法学士
		法と公共政策
兼任	講師	平成30年4月 Master of Law (アメリカ)
		経済活動のための法
兼任	講師	小宮 京 平成30年4月 博士(法学)
		日本政治史

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 文洋 平成31年4月 工学士
		スマートコミュニティ論
兼任	講師	渡辺 克也 平成31年4月 工学士
		情報通信政策
兼任	講師	宮澤 一洋 平成31年4月 経済学士
		経営情報システム
兼任	講師	花澤 隆 平成31年4月 修士(工学)
		技術経営論
兼任	講師	福重 秀文 平成31年4月 専門学校卒
		健康医療情報システム
兼任	講師	村木 厚子 平成29年4月 経済学士
		社会実践の諸相 女性のキャリア開発
兼任	講師	原 由利子 平成29年4月 Master of Arts (イギリス)
		コミュニティスタディ
兼任	講師	泉田 信行 平成30年4月 経済学修士 ※
		少子高齢化の進展と社会保 障の持続可能性
兼任	講師	岩田 美香 平成30年4月 教育学博士
		子どもの貧困と教育格差
兼任	講師	工藤 恵子 平成31年4月 博士(保健学)
		ソーシャル・ヘルス・マネ ジメント
兼任	講師	中村 明雄 平成30年4月 法学士
		法と公共政策
兼任	講師	平成30年4月 Master of Law (アメリカ)
		経済活動のための法
兼任	講師	小宮 京 平成30年4月 博士(法学)
		日本政治史

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 文洋 平成31年4月 工学士
		スマートコミュニティ論
兼任	講師	渡辺 克也 平成31年4月 工学士
		情報通信政策
兼任	講師	宮澤 一洋 平成31年4月 経済学士
		経営情報システム
兼任	講師	花澤 隆 平成31年4月 修士(工学)
		技術経営論
兼任	講師	福重 秀文 平成31年4月 専門学校卒
		健康医療情報システム
兼任	講師	村木 厚子 平成29年4月 経済学士
		社会実践の諸相 女性のキャリア開発
兼任	講師	原 由利子 平成29年4月 Master of Arts (イギリス)
		コミュニティスタディ
兼任	講師	泉田 信行 平成30年4月 経済学修士 ※
		少子高齢化の進展と社会保 障の持続可能性
兼任	講師	岩田 美香 平成30年4月 教育学博士
		子どもの貧困と教育格差
兼任	講師	工藤 恵子 平成31年4月 博士(保健学)
		ソーシャル・ヘルス・マネ ジメント
兼任	講師	平成30年4月 Master of Law (アメリカ)
		経済活動のための法
兼任	講師	小宮 京 平成30年4月 博士(法学)
		日本政治史

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 みどり 平成30年4月 修士(経済学) ※
		現代経営論
兼任	講師	萱場 豊 平成31年4月 Ph. D. in Social science (アメリカ)
		行動経済分析
兼任	講師	森脇(松尾)由紀子 平成30年4月 人文科学修士 ※
		質的調査法
兼任	講師	原田 奈美 平成30年4月 商学士
		プロジェクト・マネジメント
兼任	講師	和田 かず美 平成31年4月 修士(経営学) ※
		多変量解析と公的統計
兼任	講師	梶山(斉藤) 朋子 平成31年4月 博士(情報)
		アプリケーション開発
兼任	講師	鷹田 佳典 平成30年4月 博士(社会学)
		社会学概論 家族社会学
兼任	講師	西村 幸満 平成30年4月 修士(文学)
		社会階層論
兼任	講師	松下 優一 平成31年4月 博士(社会学)
		現代社会論
兼任	講師	坏 洋一 平成31年4月 修士(社会福祉学) ※
		福祉国家論
兼任	講師	細川 雄一郎 平成29年4月 修士(文学) ※
		クリティカル・シンキング
兼任	講師	高尾 賢一郎 平成29年4月 博士(神学)
		世界の宗教と社会
兼任	講師	折田 明子 平成29年4月 博士(政策・メディア)
		ソーシャル・デザイン論

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 みどり 平成30年4月 修士(経済学) ※
		現代経営論
兼任	講師	萱場 豊 平成31年4月 Ph. D. in Social science (アメリカ)
		行動経済分析
兼任	講師	森脇(松尾)由紀子 平成30年4月 人文科学修士 ※
		質的調査法
兼任	講師	原田 奈美 平成30年4月 商学士
		プロジェクト・マネジメント
兼任	講師	和田 かず美 平成31年4月 修士(経営学) ※
		多変量解析と公的統計
兼任	講師	梶山(斉藤) 朋子 平成31年4月 博士(情報)
		アプリケーション開発
兼任	講師	鷹田 佳典 平成30年4月 博士(社会学)
		社会学概論 家族社会学
兼任	講師	西村 幸満 平成30年4月 修士(文学)
		社会階層論
兼任	講師	松下 優一 平成31年4月 博士(社会学)
		現代社会論
兼任	講師	坏 洋一 平成31年4月 修士(社会福祉学) ※
		福祉国家論
兼任	講師	細川 雄一郎 平成29年4月 修士(文学) ※
		クリティカル・シンキング
兼任	講師	高尾 賢一郎 平成29年4月 博士(神学)
		世界の宗教と社会
兼任	講師	折田 明子 平成29年4月 博士(政策・メディア)
		ソーシャル・デザイン論

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 みどり 平成30年4月 修士(経済学) ※
		現代経営論
兼任	講師	萱場 豊 平成31年4月 Ph. D. in Social science (アメリカ)
		行動経済分析
兼任	講師	森脇(松尾)由紀子 平成30年4月 人文科学修士 ※
		質的調査法
兼任	講師	原田 奈美 平成30年4月 商学士
		プロジェクト・マネジメント
兼任	講師	和田 かず美 平成31年4月 修士(経営学) ※
		多変量解析と公的統計
兼任	講師	梶山(斉藤) 朋子 平成31年4月 博士(情報)
		アプリケーション開発
兼任	講師	鷹田 佳典 平成30年4月 博士(社会学)
		社会学概論 家族社会学
兼任	講師	西村 幸満 平成30年4月 修士(文学)
		社会階層論
兼任	講師	松下 優一 平成31年4月 博士(社会学)
		現代社会論
兼任	講師	坏 洋一 平成31年4月 修士(社会福祉学) ※
		福祉国家論
兼任	講師	細川 雄一郎 平成29年4月 修士(文学) ※
		クリティカル・シンキング
兼任	講師	高尾 賢一郎 平成29年4月 博士(神学)
		世界の宗教と社会
兼任	講師	折田 明子 平成29年4月 博士(政策・メディア)
		ソーシャル・デザイン論

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山口 みどり 平成30年4月 修士(経済学) ※
		現代経営論
兼任	講師	萱場 豊 平成31年4月 Ph. D. in Social science (アメリカ)
		行動経済分析
兼任	講師	森脇(松尾)由紀子 平成30年4月 人文科学修士 ※
		質的調査法
兼任	講師	原田 奈美 平成30年4月 商学士
		プロジェクト・マネジメント
兼任	講師	和田 かず美 平成31年4月 修士(経営学) ※
		多変量解析と公的統計
兼任	講師	梶山(斉藤) 朋子 平成31年4月 博士(情報)
		アプリケーション開発
兼任	講師	鷹田 佳典 平成30年4月 博士(社会学)
		社会学概論 家族社会学
兼任	講師	西村 幸満 平成30年4月 修士(文学)
		社会階層論
兼任	講師	松下 優一 平成31年4月 博士(社会学)
		現代社会論
兼任	講師	坏 洋一 平成31年4月 修士(社会福祉学) ※
		福祉国家論
兼任	講師	細川 雄一郎 平成29年4月 修士(文学) ※
		クリティカル・シンキング
兼任	講師	高尾 賢一郎 平成29年4月 博士(神学)
		世界の宗教と社会
兼任	講師	折田 明子 平成29年4月 博士(政策・メディア)
		ソーシャル・デザイン論

専 兼 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									兼任	講師	菅原 淳子 平成31年4月 国際学修士※ 歴史入門
									兼任	講師	安福 悠 平成31年4月 博士(数理科学) Math Camp
									兼任	講師	浅野 将秀 平成31年4月 修士(文学) Math Camp
									兼任	講師	齋藤 潤 平成31年4月 Master of Philosophy in Economics (イギリス) 経済政策論
									兼任	講師	村井 誠人 平成31年4月 修士(文学)※ 北欧から見える世界
									兼任	講師	渡邊 あや 平成31年4月 修士(教育学)※ 北欧から見える世界
									兼任	講師	石野 裕子 平成31年4月 博士(国際関係学) 北欧から見える世界
									兼任	講師	道盛 大志郎 平成31年4月 MBA(アメリカ) 法と公共政策

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・大学全体の第2ターム見直しによる科目増設のため、黒田順子兼任講師を採用。
- ・大学全体の第2ターム見直しによる科目増設のため、鈴木秀紀兼任講師を採用。
- ・大学全体の第2ターム見直しによる科目増設のため、Richard King Tai 兼任講師の担当科目増。
- ・入学者増に伴うクラス数増のため、大島幸兼任講師を採用。
- ・入学者増に伴うクラス数増のため、高岡幸世兼任講師を採用。
- ・入学者増に伴うクラス数増のため、Richard King Tai 兼任講師、Clarence Ray Bussinger兼任講師の担当科目増。

【平成30年度】

- ・平成30年4月伊藤（安福）由希子准教授から教授昇格。平成30年2月教員審査済み。
- ・荒田（下川）映子講師昇任により、山下奨講師に変更。
- ・小阪裕城講師昇任により、浜由樹子講師に変更。
- ・2年生英語クラス増対応のため、大島幸兼任講師を採用。
- ・2年生英語クラス増対応のため、Thomas George Meyer 兼任講師の科目増。
- ・2年生英語クラス増対応のため、Robert Spivak兼任講師の科目増。
- ・2年生英語クラス増対応のため、井上恵子兼任講師の科目増。
- ・2年生英語クラス増対応のため、町田島子兼任講師の科目増。
- ・実験的講座開設のため、酒井義則兼任講師を採用。
- ・寄附講座開設のため、村重慎一郎兼任講師を採用。
- ・小坂 洋子兼任講師昇任のため、石黒真理子兼任講師の担当科目増。
- ・Andy Maggs兼任講師昇任のため、Chester Jay Proshan兼任講師を採用。
- ・Hinton兼任講師担当科目減のため、Michele Joy Joel 兼任講師を採用。
- ・Weingerg兼任講師担当科目減のため、Carey Mamiko Nakata兼任講師を採用。

【令和元年度】

- ・Robert Dale Hinton兼任講師昇任のため、Clarence Ray Bussinger兼任講師の科目増。
- ・Joel Weingerg 兼任講師昇任のため、Carey Mamiko Nakata兼任講師の科目増。
- ・熊野 真理兼任講師昇任のため、David Pinkney 兼任講師の科目増。
- ・執行 智子兼任講師昇任のため、Betsy Terada 兼任講師を採用。
- ・Michele Joy Joel 兼任講師、Geoffrey Pierce 兼任講師昇任のため、Thomas George Meyer 兼任講師の科目増。
- ・峰松 和子兼任講師昇任のため、大島幸兼任講師の科目増。
- ・高岡 幸世兼任講師昇任のため、村野緑兼任講師およびYarrow兼任講師の科目増。
- ・北島 裕子兼任講師昇任のため、Yarrow 兼任講師の科目増。
- ・2017年度入学者増に伴うクラス数増のため、Richard King Tai兼任講師、Clarence Ray Bussinger兼任講師、村野緑兼任講師、Chester Jay Proshan 兼任講師、目黒 一生兼任講師の科目増。
- ・2017年度入学者増に伴うクラス数増のため、Betsy Terada兼任講師、Yayoi Anzai兼任講師、Jun Julien Nohara兼任講師、Nalia Novikova兼任講師、Laura-Anca Parepa兼任講師、Adilan Abudurehema n兼任講師、Clara Kumagai兼任講師、Richard Saimons兼任講師、保科 伸子兼任講師、亀田 知子兼任講師、柳田 利枝兼任講師を採用。
- ・英語配置時間帯変更のため、David Pinkney兼任講師の科目減。
- ・英語配置時間帯変更および2019年度入学者増のため、Clarence Ray Bussinger 兼任講師の科目増。
- ・2019年度入学者増のため、Chester Jay Proshan 兼任講師の科目増。
- ・英語配置時間帯変更のため、Peter John Collins 兼任講師の科目変更。
- ・設置認可時の改善意見に従う科目増のため、齋藤 潤兼任講師を採用。
- ・実験的講座2科目開設のため、廣瀬 方美兼任講師、石野裕子兼任講師、村井誠人兼任講師、渡邊あや兼任講師、浅野将秀兼任講師、安福悠兼任講師を採用。
- ・企業からの寄附講座開設のため、水沼久雄兼任講師を採用。
- ・大学の国際化推進のための科目開設のため、Laura-Anca Parepa 兼任講師を採用。
- ・浜由樹子兼任講師昇任のため、菅原淳子兼任講師を採用。
- ・佐久間寛兼任講師昇任のため、戸田美佳子兼任講師を採用。
- ・中村明雄兼任講師昇任のため、道盛大志郎兼任講師を採用。
- ・萱場豊兼任講師昇任のため、栗田匡相兼任講師を採用。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
11	3	0	1	15	12	2	0	1	15
(8)	(2)	(0)	(1)	(11)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
12	2	0	1	15	12	2	0	1	15
[1]	[△1]	[]	[]	[]	[1]	[△1]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
68 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況
該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	学位の分野が法学のみのため、その他の学位の分野を含んでいるとの誤解を招かないよう、課題領域名や当該課題領域に対応する科目区分名を適切に改めること。	留意事項 学位の分野が法学であることを履修要覧の「学則」を記載することで周知し、さらにその他の学位の分野を含んでいるとの誤解を招かないよう、申請時に「エコノミック・マネジメント」としていた課題領域名を「エコノミック・ポリシー」と変更し、履修要覧の課題領域（コース）の説明においても「エコノミック・ポリシー」として説明している。また、履修要覧のカリキュラム表を作成し、学生に周知するようにした。(29)	履行済
設 置 時 (平成28年8月)	本学の「エコノミック・マネジメント」の定義を、関係者の意見調整や政策等を客観的に評価することなどとするのであれば、政策調整や政策評価に関する科目を開設すること。	留意事項 本学の「エコノミック・ポリシー」の定義を、関係者の意見調整や政策等を客観的に評価することとしているため、政策調整や政策評価に関する科目として、「経済政策論」（3年次前期配当）を開設した。(元)	履行済
設 置 時 (平成28年8月)	本学における「総合政策学」は、グローバル化、IT化及び少子高齢化などに起因する社会問題を幅広く捉え、解決策を追究するものと理解しているが、概論科目として位置付ける「総合政策概論A」で扱う諸課題は、少子高齢化に係る問題に限定されていることから、社会問題とその解決策を幅広く学修できる内容に適切に改めること。	留意事項 「総合政策概論A」は本学の目的である課題解決のための基礎的な問題意識と社会認識、学問的思考方法を獲得させることを目的とする科目として位置付け、現代社会を特徴づける具体的な課題をいくつか取り上げ（少子高齢化、日本の財政、世代間格差、選挙、多様性とマイノリティ、働き方改革）、その背景や原因、その課題の解決策を概念的・理論的に学修できる内容にシラバスを修正し、授業を実施している。(29)	履行済

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
設 置 時 (平成28年8月)	「社会学概論」の内容は、現代社会における健康問題が主な内容になっているため、現代社会の諸課題を幅広く扱うとともに、社会学の基礎的理論や社会学的視点を涵養する社会学の概論科目にふさわしい内容に適切に改めること。	留意事項 「社会学概論」の内容を、さまざまな社会問題（現代社会における課題の中の、地域社会の元で人々が実際の生活を通じて直面する課題：生きづらさ、労働、健康と病、死と死別）を取り上げながら、それらの社会問題をもたらしている背景、問題を解決するための手がかりを社会学の概念や知見をもとに学修する内容に改め、シラバスを作成した。(30)	履行済	
設 置 時 (平成28年8月)	運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項 学生配付のハンドブック等への小平キャンパスのグラウンドや体育施設が自由に利用可能であることを記載し、入学後のオリエンテーション等で説明を行った。(29)	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	総合政策学部総合政策学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見 平成30年度入学試験において、適切な入学者数を確保すべく、本学他学科の過去のデータ分析、入学手続き状況の把握により、入学定員110人に極めて近い入学者の確保に努めた。その結果、105人の入学者を確保した。(30) 平成31年度入学試験においても、引き続き適切な入学定員確保に努め、入学定員110人に近い116人の入学者を確保した。(元)	履行済	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合政策学部 総合政策学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①校舎面積 39,134㎡	<p>校舎面積 35,172㎡に変更。</p> <p>当該学科で講堂（津田ホール）を使用する予定は申請時からなかったが、認可時の計画の面積に含めて記載してしまった。</p> <p>なお、この変更による教育・研究活動への影響はない。</p>

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学SD・FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>副学長(教学・国際担当)、学芸学部教務委員長、総合政策学部教務責任者、3研究科委員長のうちから互選により選出された者一名、事務局長、その他必要に応じて学長が指名する者を以って構成し、不定期開催となっている。（2018年度は4回開催）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 教育改善・向上のためのSD・FD活動の計画・企画・実施 (2) 学生による授業評価に関わる事項 (3) その他、SD・FD活動に関わる事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会・研修会の開催（ハラスメント防止、IRの活用、発達障害理解など） <ul style="list-style-type: none"> - 講演会「IRオフィスの活動とデータ分析」 - ハラスメント防止のための研修会「ハラスメント相談と学生相談双方の経験を持つ講師による、ハラスメント防止の基礎知識等」 - 講演会「教育上の『合理的配慮』/UDトーク説明」 ・学内助成事業「FD支援費」により実施されたFD活動の成果報告会 ・学生による授業評価アンケートの分析およびその結果に基づく「優良教育賞」授賞者の推薦 ・大学院授業評価アンケート報告会の開催（年2回） ・シラバスの第三者点検 <p>b 実施方法</p> <p>講演会・研修会は、教授会終了後に実施するなど、参加しやすい時間帯に開催した。また、全学で取り組むためキャンパス間のTV会議システムを活用し、2キャンパスで同時に実施した。 シラバス点検は、全学SD・FD委員長より各教育課程の長宛に点検を依頼・実施した。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>講演会・研修会は、4月から翌年1月にかけて計6回開催した。「FD支援費」の成果報告会については、当日参加できなかった者には録画映像を視聴できるように整えた。その結果、これらFD活動への参加率は、大学全体で72.2%、総合政策学部に関しては100%であった。 シラバス点検は、全教育課程より点検完了報告を受領した。</p>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

「FD支援費」を受けて推進した取組は、成果報告会で全学にフィードバックしているほか、成果報告書の提出を義務付け、自己点検評価をとおしたさらなる改善につなげた。

総合政策学部においては、学部の教育方針・教育方法等共有のため学部独自の研修会を全体で1回、英語担当者だけの研修会を1回実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

集中講義以外の全クラスを対象に、授業終盤に1回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

科目担当者には当該科目の集計結果を製本して配付、当該科目の属する教育課程の長には該当の全科目の集計結果を配付した。学生へは、翌年度7月に、前年度の集計結果の概要を大学広報誌および公式ホームページにて公表した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

- a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合政策学部は、現代社会が直面する諸課題の解決や新しい社会システムの構想に取り組み、より良い社会の仕組みをつくりだすことのできる、リーダーシップを備えた女性を育成することを目的としている。

その目的のためのカリキュラム、授業配置は計画通り実施している。

2017年度入学者が入学定員より多かったことから、2019年度の3年次の英語については、1クラスの人数を変更せず、クラス数を増加して教育効果を維持できるように体制を整えた。2017年度からの授業担当者（兼任含む）および2019年度新規授業担当者対象の研修会を2017年および2018年に実施した。また、英語担当者への事前研修も開設前年度に引き続き2017年、2018年に実施し、本学部の教育の姿勢を理解するとともに、同質の教育を提供できるような体制を整えて新学年を迎えている。

2年次のデータ・サイエンスの基礎科目も予定通り開講し、1年次のデータ・サイエンス科目と同様、演習助手を配置し、学生の理解を深めるよう体制を整えた。さらに、本学部の研究・教育充実のために、総合政策学部開設と同時に設置した「総合政策研究所」は、学内外の研究者により着々とその活動を展開しており、学生主体のプロジェクトもいくつか発足し、学生の社会での実践活動を支援している。2018年度には総合政策研究所報発行の準備を開始し、2019年度中に発行予定である。

本学部は、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」で提示されている大学の7機能のうち、とりわけ「幅広い職業人養成」と「社会貢献機能（産学官連携、地域貢献）」を重点的に担うことを学部の機能として据えている。

「社会貢献機能（産学官連携、地域貢献）」については、本学は2017年度以降、以下の地域等と包括的連携協定を締結し、協定に基づく各種プロジェクトが立ち上がっている。プロジェクトには総合政策学部の教員が関わり、学生の課題解決実習の場を提供している。

2019年5月現在の包括連携協定締結先：福井県鯖江市、長野県飯田市、S-SAP、公益社団法人日本将棋会館、岩手県住田町、東京都国分寺市、特定非営利活動法人佐原アカデミア、千葉県佐倉市、成田国際空港株式会社。APIC、電気通信大学、関西大学、武蔵野美術大学、千駄ヶ谷大通り商店街振興組合、伊藤園、小平市。

また、2020年のオリンピック・パラリンピック開催会場に近い大学として、本学は「地元千駄ヶ谷や地域との連携、産官学の連携、官民データ連携」を合言葉に、教職員・学生が一丸となって様々な活動をしてきており、その中で「津田塾生」が自ら企画し、社会実装を体験できるよう「津田2020オリパラ・プロジェクト（正式名称は、「2020東京スポーツイベント情報連絡会議）」」を立ち上げ、活動を開始している。

学生の学外学修については、前述の地域連携協定に基づくプロジェクトのほかに、大学の「学外学修センター」が企業や団体等との連携に基づき、国内外での各種プログラムが提供され、2018年度に引き続き2019年度においてもプログラムがすでに多数提供されている。

2017年4月から2018年2月までに、学外学修センターが取り扱ったプログラムへの本学学生の学外学修参加者は276人、そのうち総合政策学部の学生は56人で、総合政策学部1年生の実に34.5%となっている。2018年度の学外学修参加者数は、1年生が27人（1年生の25.7%）、2年生が46人（2年生の27.9%）で計73人（全在学生の27.0%）であった。

本学部のアドミッション・ポリシーに基づき、基礎学力とともに多様な能力や資質を備える学生を選抜するため、2018年度入学試験は、一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験のほかに、推薦入学試験、A0入学試験、特別入学試験（外国人留学生対象、海外帰国子女対象、在日外国人学校出身者対象、社会人対象）を実施した。志願者数1,352人に対し、105人の入学者を確保した。2019年度入学試験においても、一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験のほかに、推薦入学試験、A0入学試験、特別入学試験（外国人留学生対象、海外帰国子女対象、在日外国人学校出身者対象、社会人対象）を実施した。志願者数1,240人に対し、116人の入学者を確保した。

社会的・職業的自立に関する指導および体制については、教育課程内で提供する授業科目は計画通り実施されている。また、教育課程外の取り組みとして「キャリア・センター」が2018年度に千駄ヶ谷キャンパスに開設され、各種説明会、試験対策講座、ガイダンスを実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・2025（令和7）年4月1日 公表予定

b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定（令和7年4月を予定）

③ 認証評価を受ける計画
・2024（令和6）年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 2019年 11月 30日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。